

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月17日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス
 コード番号 4929 URL https://www.adjuvant-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長 (氏名) 惣田 健 TEL 078-351-3135
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年3月21日～2024年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,250	△7.1	198	109.8	206	103.4	106	—
2024年3月期第3四半期	3,500	0.6	94	△61.0	101	△62.9	△16	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 106百万円 (—%) 2024年3月期第3四半期 △10百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	13.27	—
2024年3月期第3四半期	△2.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	5,336	4,239	79.5	528.98
2024年3月期	5,277	4,216	79.9	527.07

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 4,239百万円 2024年3月期 4,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年3月21日～2025年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,640	4.6	163	—	163	857.8	79	—	9.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	8,043,600株	2024年3月期	8,043,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	28,203株	2024年3月期	43,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	8,009,369株	2024年3月期3Q	7,994,405株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D netで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年3月21日～2024年12月20日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に、内需を中心に景気は足踏み状態を抜け出し、緩やかな景気回復を維持しました。一方で、グローバルな地政学リスクやインフレによる景気減速リスクは依然として高まっており、日本国内でも人件費や物流コストの増加などに伴う物価上昇による個人消費への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

美容業界のトレンドは、“自分らしく”や“私たちらしく”など、個性を重視する時代へと変化しています。不安定な市場や物価高の影響下に於いても美容消費は維持・微増の傾向がみられ、心豊かな生活を目指す方々にとって美容業界は重要な存在となっています。

このような経営環境のもと、当社グループは、社員、代理店様、サロン様、お客様との「共創」をテーマに、社内外に向けて「美と健康を通じてすべての人に夢と感動をお届けする」という経営理念を浸透させ、ブランドの強化やトレンドを踏まえた製品開発・顧客消費マインドをプラスにする応援への取り組みを進めています。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、3,250百万円（前年同期比7.1%減）となりました。オンライン環境や営業管理プラットフォームなど営業活動の効率化を図る環境改善に加えて社員への浸透促進活動に取り組みましたが、減少する結果となりました。しかしながら需要は引き続き堅調で、既存サロンの育成や新規開拓に注力することでアジュバンサロン実稼働軒数は、8,592軒（前年同期比206軒増）となりました。

利益面におきましては、売上高の減少はありましたが、広告宣伝費、販売促進費、研究開発費などの減少により、営業利益198百万円（前年同期は営業利益94百万円）、為替差損、受取配当金などにより、経常利益206百万円（前年同期は経常利益101百万円）となりました。また、投資有価証券の譲渡による特別利益12百万円の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は106百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりです。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	1,295	37.0	1,225	37.7	△69	△5.4
ヘアケア	2,265	64.7	2,170	66.7	△95	△4.2
その他	240	6.9	148	4.6	△92	△38.3
売上割戻金	△301	△8.6	△293	△9.0	7	—
合計	3,500	100.0	3,250	100.0	△249	△7.1

（注）1. ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2C（連結子会社）及び株式会社シアール・プロフェッショナル（連結子会社）の売上高は、「その他」に含んでいます。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しています。

国内海外別売上高は、次のとおりです。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	3,318	94.8	3,120	96.0	△198	△6.0
海外売上高	182	5.2	130	4.0	△51	△28.2
合計	3,500	100.0	3,250	100.0	△249	△7.1

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりです。

（スキンケア）

スキンケア商品の売上高は、2024年10月上市のパウダー状美容液「MELECT Frevi（ミレクト フレヴィ）」によりMELECTブランドが伸びましたが、既存商品の下降をリカバリーすることができず前年同期比で減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,225百万円（前年同期比5.4%減）となりました。今後はプロモーション活動の強化を行いスキンケアブランドの回復を図ります。

（ヘアケア）

ヘアケア商品の売上高は、昨年リニューアルした頭皮ケア製品「KASUI プレミアムエッセンス」の売上が好調だったものの、既存商品の下降をリカバリーすることができず前年同期比で減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,170百万円（前年同期比4.2%減）となりました。ヘアケア製品の需要は堅調に推移しており、今後も製品ラインの拡充と導入件数の拡大を図り、持続可能な成長を目指します。

（その他）

株式会社2C（連結子会社）は、過去購入実績者に対するキャンペーン展開などのCRM施策や新規顧客増加を企図したWeb集客導線の見直しを実施してまいりましたが、効果は未だ限定的となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は148百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して59百万円増加の5,336百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して25百万円増加の3,613百万円となりました。主な変動要因は、売掛金215百万円の増加、棚卸資産166百万円の減少、その他流動資産16百万円の減少、現金及び預金5百万円の減少などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して33百万円増加の1,723百万円となりました。主な変動要因は、投資有価証券99百万円の増加、有形固定資産45百万円の減少、無形固定資産6百万円の減少、繰延税金資産3百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して35百万円増加の1,096百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して31百万円増加の640百万円となりました。主な変動要因は、返金負債63百万円の増加、未払法人税等30百万円の増加、賞与引当金56百万円の減少、買掛金8百万円の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して4百万円増加の456百万円となりました。主な変動要因は、退職給付に係る負債2百万円の増加、資産除去債務1百万円の増加などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して23百万円増加の4,239百万円となりました。主な変動要因は、配当金の支払による減少96百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益106百万円、自己株式の処分11百万円などによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期業績予想(2024年3月21日～2025年3月20日)につきましては、2024年4月19日に公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、今後の業績推移等によって通期連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,118,760	2,113,501
売掛金	405,697	621,032
商品及び製品	743,249	629,374
仕掛品	49,283	52,010
原材料及び貯蔵品	203,181	148,217
その他	71,367	54,652
貸倒引当金	△3,698	△5,236
流動資産合計	3,587,841	3,613,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,208,549	1,199,486
土地	579,283	579,283
その他	472,786	461,838
減価償却累計額	△857,306	△882,584
有形固定資産合計	1,403,312	1,358,023
無形固定資産		
	53,404	46,602
投資その他の資産		
投資有価証券	105,289	204,711
長期貸付金	1,734	2,556
その他	131,713	116,889
貸倒引当金	△5,730	△5,730
投資その他の資産合計	233,007	318,427
固定資産合計	1,689,725	1,723,053
資産合計	5,277,566	5,336,605
負債の部		
流動負債		
買掛金	111,665	103,542
未払法人税等	35,439	65,620
賞与引当金	104,092	47,660
その他	357,801	423,387
流動負債合計	608,999	640,210
固定負債		
退職給付に係る負債	46,418	48,652
資産除去債務	25,638	27,504
長期未払金	356,345	356,345
その他	23,300	23,924
固定負債合計	451,702	456,426
負債合計	1,060,702	1,096,636

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,580	776,580
資本剰余金	750,475	752,200
利益剰余金	2,720,576	2,730,836
自己株式	△32,540	△21,330
株主資本合計	4,215,090	4,238,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,895	2,923
為替換算調整勘定	△1,122	△1,240
その他の包括利益累計額合計	1,773	1,682
純資産合計	4,216,864	4,239,968
負債純資産合計	5,277,566	5,336,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)
売上高	3,500,190	3,250,855
売上原価	1,197,278	1,118,722
売上総利益	2,302,912	2,132,132
販売費及び一般管理費	2,208,499	1,934,007
営業利益	94,412	198,124
営業外収益		
受取利息	542	211
受取配当金	144	5,412
為替差益	17,658	—
受取家賃	300	1,000
雑収入	9,041	4,073
営業外収益合計	27,686	10,698
営業外費用		
保険解約損	20,726	—
為替差損	—	2,462
雑損失	—	118
営業外費用合計	20,726	2,580
経常利益	101,373	206,242
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12,686
リース債務取崩益	7,202	—
特別利益合計	7,202	12,686
特別損失		
固定資産除却損	6,354	—
投資有価証券売却損	2,637	—
特別損失合計	8,992	—
税金等調整前四半期純利益	99,583	218,929
法人税、住民税及び事業税	73,655	108,892
法人税等調整額	42,783	3,769
法人税等合計	116,439	112,661
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,856	106,267
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,856	106,267

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年3月21日 至 2023年12月20日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月21日 至 2024年12月20日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△16,856	106,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,842	28
為替換算調整勘定	408	△118
その他の包括利益合計	6,251	△90
四半期包括利益	△10,604	106,176
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,604	106,176
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)
減価償却費	80,445千円	86,619千円